

1号議案 2022年度の活動報告

1. シンポジウム「図書館は市民の宝物！」を開催

4月15日（金）夜6時20分より和光大学ポプリホール鶴川の地下ホールにて、町田の図書館活動をすすめる会、鶴川図書館大好き！の会、まちだ未来の会、町田の学校図書館を考える会の4団体が共催し、会場参加とオンラインの参加を募って、開催した。当日は、雨模様の仲、会場には54人の参加者が集い、オンラインでは、北は登別市、西は大阪府、南は小笠原から全国で30名近くの方が参加、熱心に視聴。前半の辻由美さんの基調講演は、大好評。講演内容については、知恵の樹No.265の巻頭に報告を掲載しているで、ご覧いただきたい。パネルディスカッションについては、辻由美さん、青木洋子さん（多摩市に中央図書館をつくる会代表）、伊藤久雄さん（認定NPO「まちぽっと」理事）、山口源治郎さん（学芸大学特任教授・図書館情報学）4人の方にそれぞれの立場で図書館のあり方についてご意見をいただいた。

2. 定例会を年11回開催（2022年 4/26、5/24、6/28、7/26、10/4、11/22、12/20、2023年 1/27、2/28、3/28）

中央図書館会議室で開催し、定例会の前に会報の印刷及び丁合を行ったあと、18時から20時まで会議を行い、種々の活及び会報の内容について検討。

3. 会報『知恵の樹』発行：266号から275号まで11回発行（発行日は定例会と同日）

図書館の再編問題、図書館の指定管理者制度、会計年度任用職員制度、図書館の市民協働の問題などを取り上げるとともに、毎号地域の子どもたちが薦める図書館の本の紹介、本や図書館にまつわる本の紹介などを載せ、好評を得た。

4. 鶴川図書館の図書館としての存続を求めて鶴川図書館大好き！の会と共に活動

- ・5月8日に第6回ワークショップ、6月11日に第7回ワークショップを鶴川市民センターで開催
- ・8月8日図書館の担当者、鶴川図書館再編業務委託業者 HITOTOWA の人と当会及び鶴川図書館大好き！の会のメンバーと Zoom で情報交換及び意見交換
- ・11月3日に鶴川図書館応援まつりを大好き！の会と協力して開催。青空討論会なども実施
- ・2023年2月8日と12日に市が開催した「市民向け鶴川図書館再編説明会」に参加し、参加した市民と共に図書館としての存続を求めた

5. 図書館行政に対して行った行政不服審査請求を申し立て

図書館行政に関して、情報公開請求を町田市教育委員会教育長宛てに2020年8月11日に行った。しかし、開示された公文書は、いずれも行政の意思決定とは無関係な、単なる手続き上の起案書等に過ぎなかったため、同年12月7日に起案書等の決定経緯が分かる公文書の開示を求める情報公開請求を再度行ったが、8月に開示されたものと全く同じ公文書が開示された。

さらに2021年3月1日に情報公開再々請求をおこなった結果、3月10日付（生涯学習部生涯学習総務課と3月12日付（生涯学習部図書館）の公文書不存決定通知書が届いた。

そこで、2021年年の6月14日に、以下4項目について、図書館の重要な政策を決定する手続きが

恣意的であり、意思決定した文書が不在のまま図書館行政がすすめられている実態を明らかにし、その是正を求めるために行政不服審査申し立てをした。1年以上経過した2022年7月15（金）から審査が始まり、当会から代表以下4名が出席、公文書が存在しないことの不当性について口頭意見陳述を行った。その後、審議会で審査が続いているが、結論は出ていない。

①新型コロナウイルスにより、図書館は全館休館となった。

②図書館のホームページを突然閉鎖、かつ再開した。

③「今後の町田市立図書館のあり方について」を図書館協議会ではなく、生涯学習審議会に諮問した

④生涯学習審議会に「(案) 町田市立図書館のあり方見直しについて」が「資料4-①」として出された。

(詳しい経過、内容については、255号、256号、266号、268号をご覧ください。)

6. 嘱託労との情報・意見交換

・6月9日夜、会計年度任用職員制度となつての職員体制、問題などについて情報交換

7.. 団体会員である図書館友の会全国連絡会（とともれん）関連の活動

図友連からの情報をMLで得るとともに、総会の議案承認その他、必要なアクションを行った。